

プラチナスKシリーズ

Q: アラーム「ウイック乾燥検出」の対処法のうち、給水ポンプへの呼び水手順を教えてください。

【型式】PR-1K, PR-2K, PR-3K, PR-4K, PL-1K, PL-2K, PL-3K, PL-4K, PSL-2K, PSL-4K,
PH-1K, PH-2K, PH-3K, PH-4K, PDR-3K, PDR-4K, PDL-3K, PDL-4K, PCR-3K

A: 次の通りです。

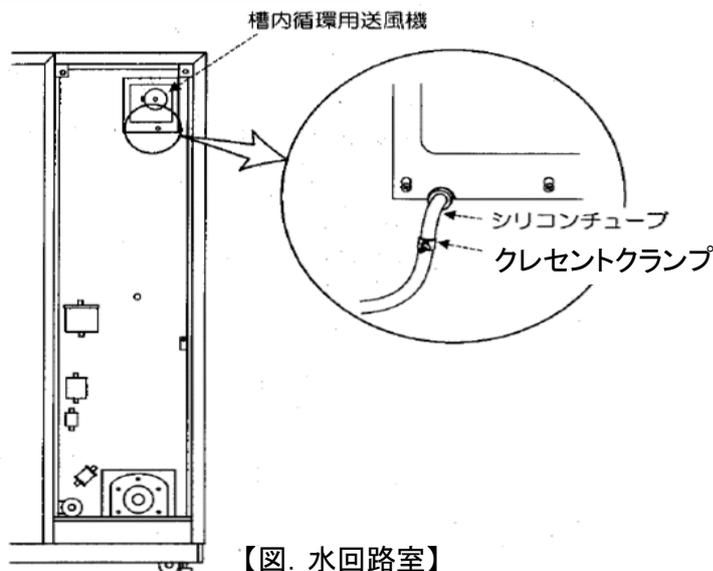
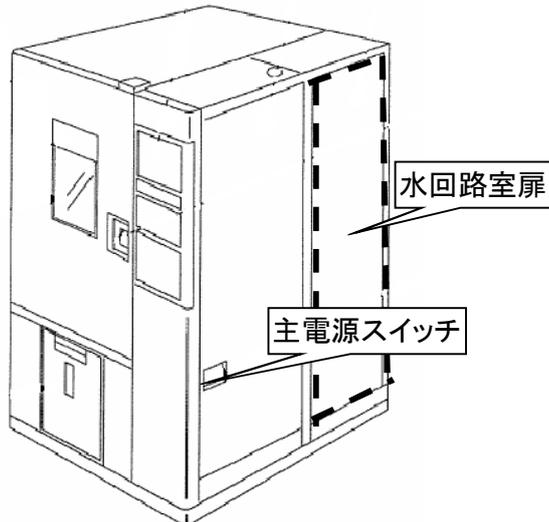
製造時期により水回路の形状が一部異なるので、ご注意ください。

時期	SERIAL No. (製造番号)
2007年8月以前	～14017946
2007年8月以降	～14017947

『ウイックパン給水ポンプへの呼び水手順』

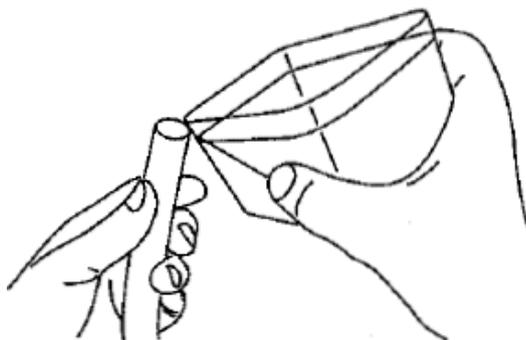
・SERIAL No. (製造番号)14017946以前

- ① 主電源スイッチ(漏電遮断器のスイッチ)がOFFになっていることを確認します。
- ② 水回路室扉を開けます。送風機モータ下にあるウイックパン給水チューブからプライヤを使用してクレセントクランプをはずします。



(参考)プライヤ

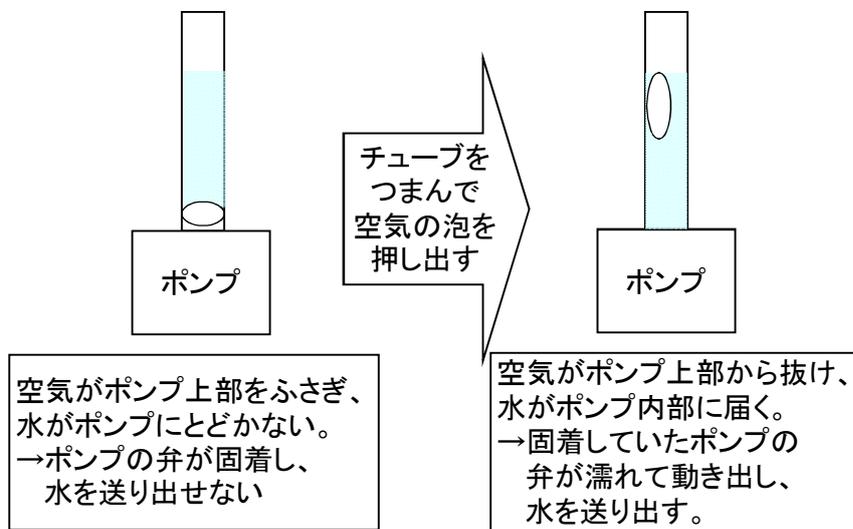
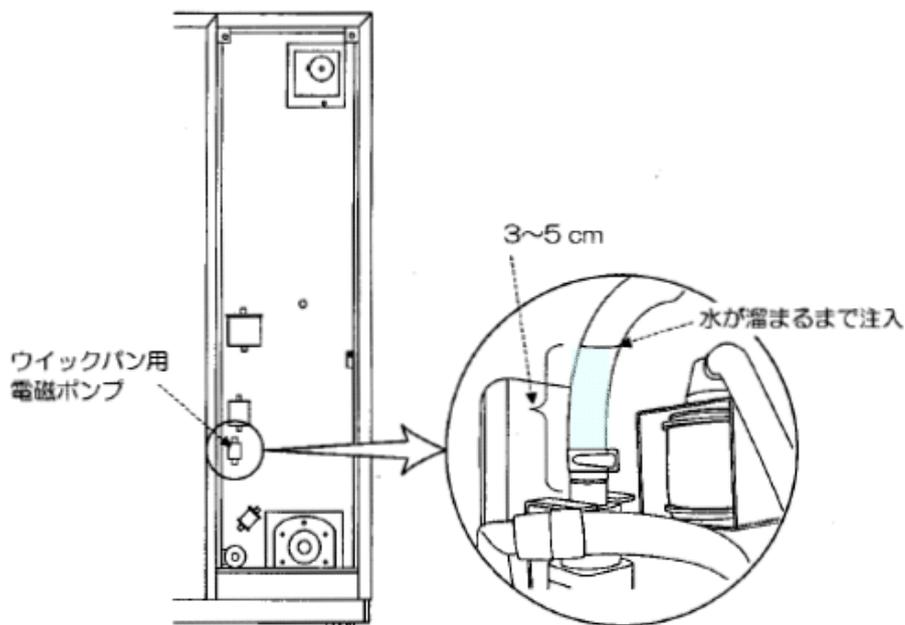
- ③ 配管からはずしたシリコンチューブの中に呼び水を注入します。
 (小さい容器やジョウゴを使うと便利です)



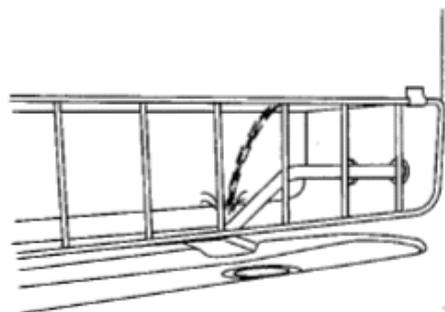
(参考)ジョウゴ

ご注意：
 給水ユニットの電気部品に水
 がかかると故障する場合はあ

- ④ ポンプの上部チューブに水が3~5cm程度溜まるまで注入します。
 注水する時、チューブを揺すり、空気を抜きながら注入すると早く注入できます。



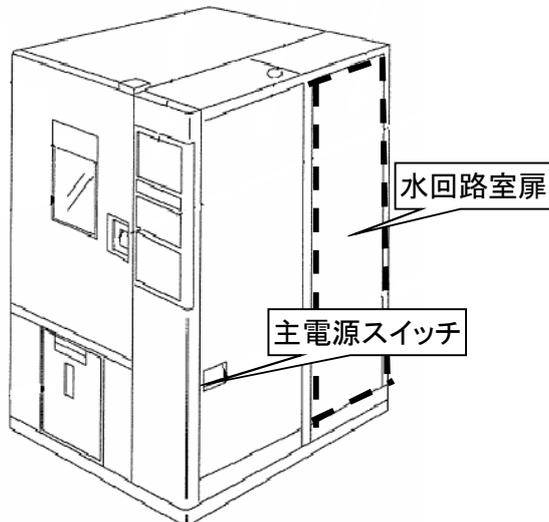
- ⑤ 水の注入ができれば、はずしたシリコンチューブを配管の奥まで差し込み、クレセントクランプを元通りに取り付けてください。
接続したシリコンチューブを軽く引っ張り、抜けないことを確認してください。
- ⑥ 水回路室扉を閉めて主電源スイッチをONにし、湿度運転をしてください。
- ⑦ 装置内槽奥側の加湿皿に水が供給されます。
給水途中にウイックパンのポンプが動き出します。
その後、加湿皿にウイックパンからオーバーフローした水が落下してきます。
水の落下が確認できない場合は本体を停止し、再び湿度運転を行ってください。



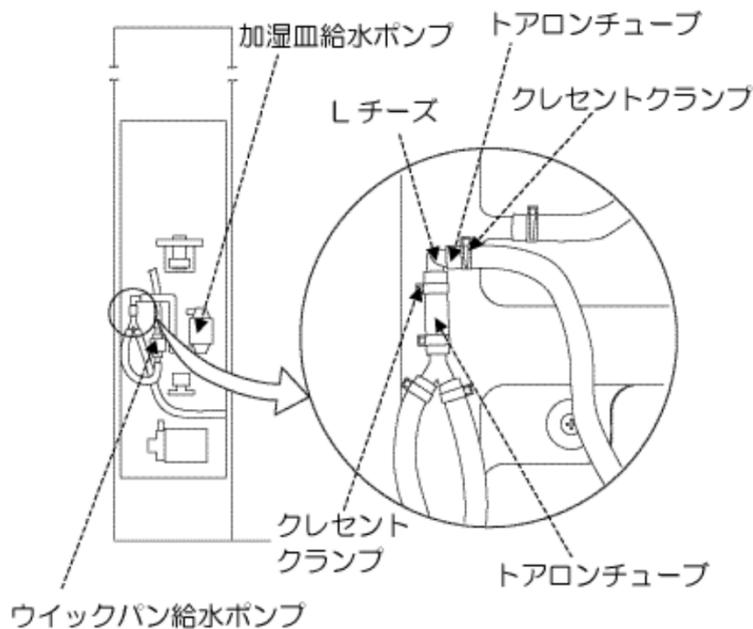
- ⑧ 4～5回再始動を行っても水が加湿皿に落ちてこない場合は、お買い上げ代理店またはサービスブランチに修理・点検依頼を御願います。

・SERIAL No. (製造番号)14017947以降

- ① 主電源スイッチ(漏電遮断器のスイッチ)がOFFになっていることを確認します。
- ② 水回路室扉を開けます。送風機モータ下にあるウイックパン給水チューブからプライヤを使用してクレセントクランプをはずします。

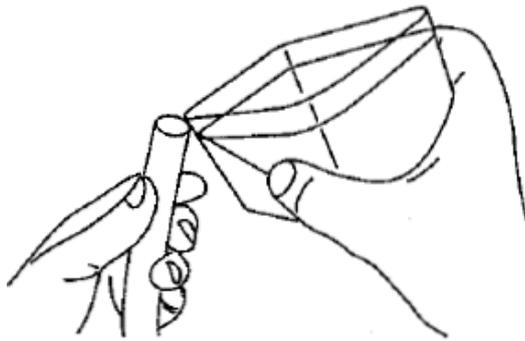


- ③ トアロンチューブを軽く引っ張り、Lチーズから外してください。
(チューブが抜けにくい場合があります。Lチーズが破損しないよう注意してください)



(参考)プライヤ

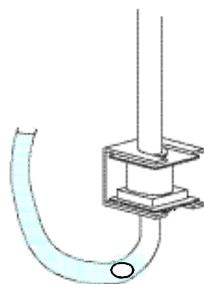
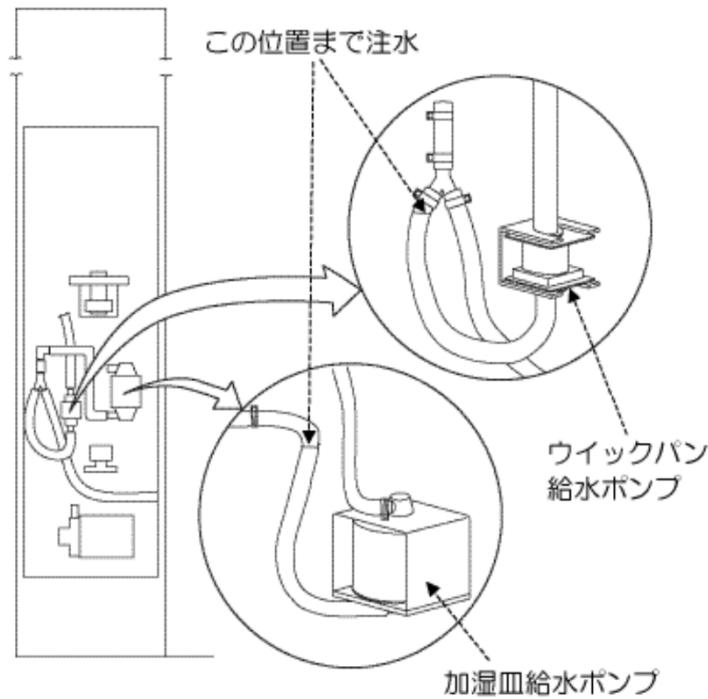
- ④ 配管からはずしたシリコンチューブの中に呼び水を注入します。
 (小さい容器やジョウゴを使うと便利です)



(参考)ジョウゴ

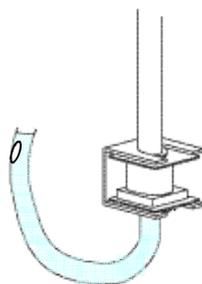
ご注意：
 給水ユニットの電気部品に水がかかると故障する場合があります。

- ⑤ ポンプの下部チューブに水が溜まるまで注入します。
 注水する時、チューブを揺すり、空気を抜きながら注入すると早く注入できます。



チューブをつまんで
 空気の泡を
 押し出す

空気がポンプ上部をふさぎ、
 水がポンプにとどかない。
 →ポンプの弁が固着し、
 水を送り出せない



空気がポンプ上部から抜け、
 水がポンプ内部に届く。
 →固着していたポンプの
 弁が濡れて動き出し、
 水を送り出す。

- ⑥ 水の注入ができれば、はずしたトアロンチューブをLチーズに奥まで差し込み、クレセントクランプを元通りに取り付けてください。
接続したトアロンチューブを軽く引っ張り、抜けないことを確認してください。
- ⑦ 水回路室を閉めて主電源スイッチをONにし、装置を湿度運転してください。